



高校生～30代の若者活動 公民館の「コーヒーハウス」



～活動記録誌「わたしと、コーヒーハウス」完成！
「しょうがいしゃ青年教室」の活動スタッフ募集！～

「公民館って、あまり若い人がいるようなイメージがない」とよく言われるのですが、くにたち公民館はちよつと違います。1階には、ロビーの横に「喫茶わいがや」という名の喫茶コーナーがあり、その奥には「青年室」という若者たちの部屋があります。そこは、しょうがいしゃを含むいろんな背景のある若者が活動する場として、「コーヒーハウス」と呼ばれています。

この活動の記録誌「わたしとコーヒーハウス」がこの度完成しました！ 関わる若者たちの思いを特集しています。あなたもちよつとした「学び」や「ボランティア活動」から「コーヒーハウス」に出会ってみませんか？



～青年企画講座・若者トークセッション～ 「コーヒーハウス」と若者たちの今

公民館1階にある「青年室」と「喫茶わいがや」での活動「コーヒーハウス」には、近年、しょうがいのあるなしに限らず、不登校、ひきこもり等の経験を持つさまざまな若者も、参加するようになってきています。

若者の「生きづらさ」は、決して個々の若者の中にある課題ではなく、社会そのものが抱える課題や、社会と若者自身との間のズレなどから生じているということが、「コーヒーハウス」の活動からは見えてきます。



「喫茶わいがや」のコーヒーを飲みながら…

今回は、教育学や若者の研究と実践を行っているお二人をゲストにお迎えし、「コーヒーハウス」に関わる若者たちとともに、「生きづらさ」や社会のこと、日頃のもやもやなど、若者をめぐるさまざまなことについて考えます。

ゲスト 青山 鉄兵 (文教大学人間科学部)
南出 吉祥 (岐阜大学地域科学部)

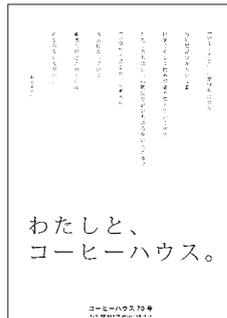
とき 5月21日(日)朝10時半～昼3時頃まで

ところ 公民館 1階青年室

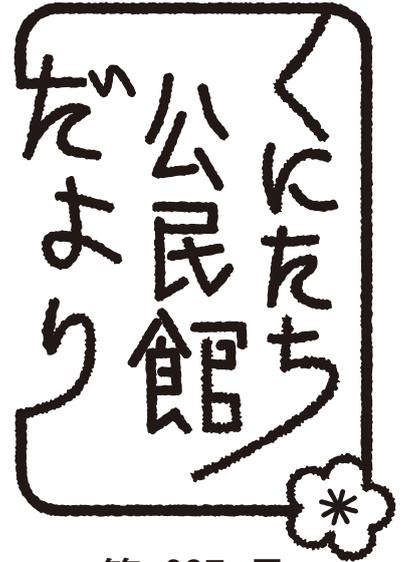
対象 高校生～30歳代くらいまで

定員 10名(申込先着順)

*参加者には、お昼休憩時に「喫茶わいがや」のカレー等の軽食メニューを割引価格でご提供もできます。



通巻70号になる記録誌
希望者に差し上げます



第 687 号

2017年5月5日
(平成29年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

しょうがいしゃ青年教室・喫茶わいがや

10代後半から30代までの活動スタッフ募集中！

以下のコースなどに分かれて活動しています。関心があるコースの見学など、お気軽にお問い合わせください。

しょうがいのあるなしを超えて学びあい楽しむことを目指しています。



「青年室」での活動風景

スポーツ さまざまなスポーツに挑戦します。

5月12日(金)夕6時半～(バスケットボール)

料理 さまざまな料理をこだわって作ります。

5月20日(土)夕5時半～(カレーライス)

クラフト 毎回ひとつオリジナルの作品を作ります。

5月27日(土)夕5時半～(カレンダー作り)

喫茶実習 「喫茶わいがや」でコーヒーを淹れたりします。
市民団体の運営で休館日以外の12時～18時に開店します。

*5月以降も毎月活動します。随時参加受付しています。

28年度公民館講座・催しのふり返りと29年度の計画 ～脈々と積み重なる取り組みと新しい挑戦～

今年度の公民館講座・催しの年間予定をお知らせします。公民館の講座は、①現代社会の課題を考える講座、②共生の地域社会を育む講座、③まちを知る、地域から学ぶ講座、④社会をみつめ、文化をつくる講座、⑤表現と創作を楽しむ講座、以上の5つの分野に分かれています。

それぞれの分野から特徴的な講座を、昨年度の取り組みなどを中心に担当者が紹介します。今年度も魅力的な講座を実施していきますので、ぜひ公民館にお越しください。

誰もが自分らしく暮らすための人権学習

公民館では、「平和・人権」を基本視点に据えた主催事業を毎年度実施してきました。「①現代社会の課題を考える」の分野では、普遍的な課題、時事的な社会問題からその都度テーマを選定し、講座を企画しています。

昨年度の「人権講座」では、部落差別・同和問題の視点から、国立市市長室の「人権週間」事業と連携して、連続講座を企画しました。11月には、「食肉・皮革産業の『裏側』—屠畜と差別、動物と人間の関係史—」をテーマに、ルポライター・鎌田慧さんに講演してもらいました。12月には、ドキュメンタリー映画「ある精肉店のはなし」の上映と映画監督・額田あやさんのトークセッション、1月には芝浦と場の食肉市場見学会を開催し、いのちを食べること、屠畜解体の現場で働く人々の思い、食肉処理業務に対する差別の実態などを学びました。こうした一連の事業の参加者からは、屠畜の仕事に誇りを持って取り組む労働者、いのちを食べることの意味、私たちの食肉をめぐる価値観などへの認識が変わったという感想が多く聴かれました。

昨年逝去された佐藤前市長は、公民館・社会教育への造詣も深く、同時に「平和・人権行政の使命」を追求されてきました。公民館でもこの遺志を引き継ぎ、誰もが自由に生きる権利が尊重される地域社会をつくるために、多様な角度から学びの機会をつくっていきます。



鎌田 慧さん
講演会



多文化共生に向けた 「生活のための日本語講座」「にほんごサロン」

「②共生の地域社会を育む」の分野では、しょうがいしゃや外国人などの様々な方々と地域社会で共生していくことを目指して、講座を企画し、継続的に実施しています。

「生活のための日本語講座」は、日本に住む日本語を母語としない人たちが、より暮らしやすい生活を送るために、生活レベルの日本語を習得すること、また、日本語を通じて市民との交流の機会をつくることを目的とし、1994年から行われている事業です。8月を除く5月～3月の通年で実施し、3月末には、講師・学習者同士の交流を図るため、関東近郊へバスハイクに行きます。

「にほんごサロン」は、生活に関する情報提供、地域とのつながりの創出、日常会話の上達を目的として、2013年度から始めました。月1回、同じ地域に暮らす仲間として、日本の習慣、各種手続きの相談や情報交換をしています。昨年度より、「生活のための日本語講座」に参加する学習者数名がスタッフとして、会議や準備、当日の司会・進行をしています。日本人の方もボランティアとして一緒に楽しめます。興味のある方はぜひ一度のぞきにきてください！



小田原城に
行きました！



一橋大学と連携してつくる連続講座・院生講座

「③まちを知る、地域から学ぶ」の分野では、国立というまちならではの講座を開催しています。今回は市内の学府・一橋大学と公民館の連携講座についてお話しします。

昨年度に行ったのは大学院生による講座や、「街角にいつも『大学』がある—くにたち教養マッピング—」。「くにたち教養マッピング」は、5回にわたる連続講座です。前半では、学問とは何か・文系の中にある理系の捉え方、理系の中にある文系の考え方などについて講義がありました。後半はワークショップ。大学・公民館・市内各所という枠を超えて、国立というまちでいったいどれくらい、どのような講座や研究会や勉強会が開催されているのか……参加者と一橋大学の教員・大学院生と一緒に白地図に落とす作業をし、国立の学びが俯瞰できるとも大きな「学問地図」を作成しました。

今年度も、日夜研究に励む大学院生の成果を市民のみなさんに発表していたく院生講座、一橋大学連携講座を開催予定です。ますます、国立の学びをもっと増やしていきたいと思えます。



くにたち
「学問地図」
作成中！



教養と共同を培う読書会講座

「④社会をみつめ、文化をつくる講座」の分野の中の一つ、「くにたちブッククラブ」は毎年5月から翌年1月にかけて、月に一冊課題の本を読み、参加者が多様な感想や読みを出し合い、講師のお話や助言を聞いて新たな読みを深めていく読書会形式の講座です。作品との出会い、作品でつながる仲間との出会い、そして作品の感想をお互いに交換しあうことで、一人では気がつかなかった新たな視点に出会うことができます。

2月から3月にかけては参加者が文集作りをします。その年に取り上げた本の中からそれぞれ書きたい作品を選びます。原稿を書き上げるのは一苦勞ですが、最後の製本作業では皆で協力しあいながら作業をし、完成したときは、やり切った充実感でいっぱいになります。

毎年2月に講師と参加者で、次年度の8作品とテーマを考えます。今年度は「世界の軋む音を聞く」というテーマになりました。ご一緒に一年を通してブッククラブに参加してみませんか（初めての方、1回ごと参加も歓迎です）。



文集作りは
1つ1つ
手作業です。

のびのびとごくワークショップ—身体表現

「⑤表現と創作を楽しむ」の分野の中の一つ、身体表現を紹介します。

まずは準備運動—身体をほぐす。深呼吸をして呼吸を整え、自分の身体と向き合います。次に、足の指先からふくらはぎ、太ももと順番にマッサージをしていきます。手の平でさすっていると、身体がポカポカ温かくなっていくのがよく分かります。身体が温まったら、参加しているメンバーと一緒に、音楽をかけながら楽しく身体を動かしましょう。ポーズを真似っこしあったり、出来る限りゆっくりのろのろ歩いたり……。

地下ホールの広さを目一杯使って、身体を動かす。もしかしたら、公民館講座の中で一番汗をかく講座かもしれません。しかし2時間の講座が終了した時の心地よい疲れは最高です。

この講座では、しょうがいがある人もない人も一緒に、身体を使って気持ちを表現します。そして最後は、しょうがいしゃ青年教室のクリスマス会で発表です！



はい、ポーズ！！



—29年度 公民館講座・催し年間予定—

- ①現代社会の課題を考える
 - 憲法
 - 人権
 - 平和
 - 環境
 - 教育
 - 多文化共生
 - 家族
 - 格差と貧困
- ②共生の地域社会を育む
 - 女性のライフデザイン
 - 母と娘のむずかしさ
 - 男性の料理教室
 - 親子で遊ぼう考えよう
 - 世代間交流
 - 中高生のための学習支援
 - 青年講座
 - 青年室活動（コーヒーハウス）
 - シルバー学習室
 - ワークライフバランス
 - 老いとケア
 - しょうがいしゃ青年教室
 - しょうがいしゃパソコン教室
 - パラスポーツ
 - 生活のための日本語講座
 - 日本語教育入門
 - にほんごサロン
- ③まちを知る、地域から学ぶ
 - 自然
 - 緑化活動
 - 地域史
 - 一橋大学院生講座
 - 一橋大学連携講座
 - 学びのデザイン
 - 社会教育学習会
 - 公民館利用者交流会
 - 地域防災
 - 市制施行50周年記念事業
- ④社会をみつめ、文化をつくる
 - くにたちブッククラブ
 - 文学から見る社会
 - 古典を読む
 - 哲学
 - ヒトの心を探る
 - 文化・芸術
 - 図書室のつどい
 - 映画会
 - シネマトーク
- ⑤表現と創作を楽しむ
 - 朗読
 - 身体表現
 - 陶芸
 - 銅版画
 - 市民文化祭

人生のあしあと マイ・ノート ～「これまで」そして「これから」～

講師 大原 悦子
(津田塾大学ライティングセンター客員教授)

これまでの自分を振り返り、生きてきた歴史を書き記してみませんか？ 人生で一番うれしかったこと、苦労したこと、転機になったことなどを数十ページにまとめるとともに、この先の生き方を探ります。

回	日時	内容
1	6月9日	年表づくり、「はしがき」を書く ～思い出を振り返り、だれに、何を伝えたいか考えよう～
2	7月7日	テーマを3つ決めて書く ～あなたの人生のハイライトは？～
3	9月8日	「あとがき」を書く ～これからやってみたいことは何？～
4	10月13日	交流会

いずれも金曜日、時間は昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室
定員 10名(申込先着順) ※全4回参加できる方
申込先 5月12日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

シネボックス 公民館映画会 『鉄道員』 Il Ferroviere 1956年 イタリア 白黒 115分

監督 ピエトロ・ジェルミ
音楽 カルロ・ルスティケリ
出演 ピエトロ・ジェルミ、エドアルド・ネヴォラ、ルイザ・デラ・ノーチェ、シルヴァ・コシナ ほか



『わらの男』、『刑事』など監督兼俳優として活躍したイタリアの名匠ピエトロ・ジェルミの代表作。頑固な初老の鉄道機関士とその家族の姿を通して、貧しくともひたむきに生きる庶民の日常を情感豊かに描き出した名作。カルロ・ルスティケリの哀感溢れる音楽と、末っ子のサンドロを演じたネヴォラ少年の好演も話題を呼んだ。

とき 5月28日(日) 昼2時～(開場1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

公民館の新しい発行物のご紹介

公民館の取り組みなどをまとめた冊子・リーフレットができました。お読みにになりたい方は、差し上げますので、公民館へお気軽にお問い合わせください。

くにたちブッククラブ『言葉のとげ、境界にたつ文学』

文学作品を共同で読むことで深められた読みや気づきが綴られています。講師の1人、大野亮司さんによる講義録「野坂昭如『アメリカひじき』をめぐって」も掲載しています。

第61回 くにたち市民文化祭記録集

文化祭に参加した団体が、催しの成果を報告しています。市内で文化・芸術活動をしている方々の文化祭での写真も多く載っています。

現在、「第62回 くにたち市民文化祭」への参加を募集中です(5月19日(金)まで)。

リーフレット『くにたち公民館』

公民館をこれまで利用したことがない、どんなことをやっているのかわからない、という市民の方に向けた案内リーフレットが、公民館60周年事業実行委員会のアイデアから生まれ、完成しました！(写真右)



リーフレットの中を開けると...

国立市公民館・NHK学園高等学校共催 子ども・若者を支える“つながりワークショップ”

子どもの育ち、若者の自立を支援する地域の活動や団体の取り組みについて学びあい、“つながり”をつくる連続ワークショップです。今回は学校の取り組みに学び、小グループで今後の活動計画について話しあいます。お気軽にご参加ください。

「学校生活の支援と学校・家庭・地域連携の取り組み」

お話し 植木 淳
(国立市教育委員会教育指導支援課・指導主事)

とき 5月30日(火) 夜7時～9時
ところ NHK学園高等学校 2階音楽室
申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*会場へのアクセス
国立駅南口から徒歩約18分、バスのりば乗車約5分「国立高校前」下車。谷保駅から徒歩約8分。



〈親子で遊ぼう・考えよう〉 マスキングテープを使って アート作品を作ろう！

マスキングテープは透けるので、重ねていろいろな色彩が作れます。簡単に手で裂けるので小さな子でもシール感覚で楽しむことができます。今回は、マスキングテープを活用してみんなで大きなハートを作ってみましょう。

講師 西村 公一 (マスキングテープアーティスト)

とき 5月21日(日) 朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
持ち物 飲み物、動きやすい服装
対象・定員 子ども(3歳以上～小学生)と保護者 14組(先着順)
申込先 5月9日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

*この講座は、さまざまな遊びを通して子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

〈図書室のつどい〉

昭和の洋食 平成のカフェ飯 —家庭料理の80年—

お話し 阿古 真理 (作家、生活史研究家)
映画、テレビ、雑誌、レシピの本……様々なメディアは家庭料理をどのように伝え、どんな食卓を描いてきたのでしょうか。阿古さんはメディアに表された家庭料理から、経済や政治・その他様々な社会的背景を読み解かれています。食への意識、家族のかたち、そして女性たちの変化……。家庭料理から見える日本社会を一緒に紐解いていきましょう。

〈阿古さんの本〉
『なぜ日本のフランスパンは世界一になったのか パンと日本人の150年』(NHK出版新書)、『「和食」って何?』(ちくまプリマー新書)ほか多数。

とき 5月20日(土) 午後2時～4時
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)
*申し込みは不要です。ご自由においでください。

〈くにたちブッククラブ 世界の軌跡を聞く〉

川上弘美「真鶴」(文春文庫)

講師 紅野 謙介 (日本大学・日本近代文学)

とき 5月11日(木) 夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

緑化ボランティア募集

公民館の緑化活動に参加しませんか

ボランティアの方々のご協力により、公民館の緑化活動に取り組んでいます。活動にご興味のある方、協力していただける方は公民館までご連絡ください。



スナップエンドウ



アネモネ



活動内容: 植木の剪定、グリーンカーテンの設置、草花の栽培・手入れ、敷地内の除草など
活動頻度: 月2回程度(水曜日1回、土曜日1回)

テニスクラブ会員募集
男女問わず40歳以上中高年
テニスは健康維持に最適です。
みんなで大いに楽しみましょう。
日時 毎週火、金曜日昼12時～
場所 矢川コート・谷保コート
連絡先 寺沢(574) 8478

ヨガサークルメンバー募集
インドフルネスヨガで心の奥
のストレスをスッキリさせません
か。40代から60代のメンバーが楽
しく学んでいます。
日時 毎週土曜日
場所 東地域防災センター
連絡先 前田(984) 4448

**国立シルバード卓球クラブ
募集**
男性60才女性55才以上の方卓球
を通じてコミュニケーションと健
康増進を目標に一緒に頑張りませ
んか。
入会金千円年会費千円。
日時 毎週月曜日朝9時～12時
場所 総合体育館 第二体育室
連絡先 広田(574) 8074



ひまわり
(8ページにもあります)

くになち国際友好会WING
5月は自称「オーサカラリア
人」と云う大阪生まれのオースト
リア人マキンタヤ・ステイーブ
ン氏(一橋大留学生)が日本と豪
州の異文化雑感を語ります。
日時 5月18日(木)夜6時半～
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 和田(99) 2110

フルーツ会員募集「桜音の会」
半年に一回新曲に取り組んでい
ます。新しい譜面を手渡された時
の戸惑い、少しずつ曲に仕上がっ
ていく喜びは、吹いていて良かっ
たなと感じる瞬間です。
日時 第二、四火曜日夜6時～
場所 富士見台地域防災センター
連絡先 武田(99) 7112

ゴスヘルSOSメンバー募集!
リズム感のあるゴスベルが大好
きで地域のサークルとして、楽し
く歌っています。深い呼吸のヴォ
イストレーニングで、目指すのは
美しいハーモニー。ぜひ一緒に
日時 木曜日昼3時半、夜6時半
場所 北市民プラザ 音楽練習室
連絡先 葭野(80) 6943

やさしい英会話
英会話で楽しくおしゃべりしな
がらブラッシュアップを図りませ
んか。中級クラス、若干名募集し
ます。月四回のレッスン(二回は
外国人講師)詳細はお尋ね下さい。
日時 火曜日昼3時半～5時
場所 公民館
連絡先 三好(84) 4632

カラオケを楽しむ会の発表会
今年も目頃、カラオケを楽しん
でいる仲間たちが大勢集まり、発
表会を行いますので、お友達など
お誘い合せの上、皆様のご来場を
出演者一同心よりお待ちしております
日時 5月20日(土)朝10時15分～
場所 市民芸術ホール
連絡先 高橋(572) 0806

起立性調節障害ソレイユ
成長期に多い起立性調節障害
家族、関係者交流会。怠けやさは
りと誤解されやすい病気で。申
込制、参加費100円、毎月開催。
http://ot-kunitachi.soleil.blog.jp/
日時 5月20日(土)昼1時～
場所 公民館 和室
連絡先 片岡(525) 7122

抵抗の歌の歴史
お話と歌 館野 公一さん
♪「ワーク・ソング」重いツルハ
シをふるう炭鉱夫の労働歌から
「ずつと嘘だったんだね」斉藤和
義まで 資料代500円 スペースF
日時 5月26日(金)夜7時～9時
場所 公民館 講座室
連絡先 担当 伴(573) 4010

●●●● 公民館29年度予算について ●●●●

公民館予算は、1億1,814万7千円で内訳は表のとおり
です。前年度と比較して317万6千円の増額となりました。
主な理由は、公民館1階市民交流ロビーの段差解消機取
替工事の増加です。その他の予算はほぼ例年どおりとなり
ました。

■公民館費の当初予算内訳 単位：千円

科目	28年度予算	29年度予算	比較増減
公民館総務費	85,379	87,900	2,521
人件費	64,761	62,651	-2,110
維持管理費	20,618	25,249	4,631
公民館事業費	29,592	30,247	655
主催事業費	17,789	17,438	-351
広報費	6,167	6,722	555
図書室費	3,405	3,438	33
若者支援費	2,231	2,649	418
計	114,971	118,147	3,176

- 一般会計予算 290億3,000万円 (前年度比9,300万円減)
- 教育費総額 23億6,391万円 (前年度比8,702万3千円減)
- 公民館費 1億1,814万7千円 (前年度比317万6千円増)

「街を・山を歩く」について

<事業の趣旨>この事業は、社会体育事業として市民の健
康づくり、コミュニティづくりの一環として事業を実施
しています。
<今年度の事業実施について>年4回の事業開催を予定し
ており、開催案内は公民館だよりでお知らせします。第1
回目は下記の通り開催します。

「街を・山を歩く」第1回
日時 5月25日(木) <雨天中止>
集合 谷保駅北口 朝9時
実施方面 八王子方面(距離:約10キロ)
対象 市内在住、在勤者
チラシ 5月11日(木)から市役所3階生涯学習課、市
民総合体育館、公民館、北・南市民プラザで配
布します。
申込方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を
確認のうえ、5月12日(金)から22日(月)の
期間に下記までお申し込みください。
申込・問合せ先 教育委員会 生涯学習課
社会教育・体育担当 ☎(576) 2107(直通)

〈環境講座〉 身近にある毒植物たち

講師 森 昭彦(サイエンス・ジャーナリスト)
道の傍らや野山などでひっそりと、あるいはあでやかに
伸び、咲き誇る植物。その中には、うっかり触れると悲惨
な事態を招くものもあります。さらに、庭や畑で育ててい
るお馴染みの野菜も不注意に扱えば、思わぬ健康被害を受
けることもあるといます。
今回、雑草・野菜・草花の仕組みから、「植物を見分ける
こと」、そして「植物の自然毒について正しく知ること」で、
安全に接すること、食することを学ぶ機会にしたいと思います。
*講座の前半は座学、後半は城山周辺を歩きます。少雨決
行。

森さんの著書
『身近にある毒植物たち』
序章 忘れられがちな「植物の自然毒」
第一章 致死性の身近な植物毒
第二章 重大事故を起こす園芸植物
第三章 取扱い注意の身近な植物

とき 6月10日(土) 昼1時半～4時半
ところ くにたち郷土文化館 研修室1
定員 20名(先着順)
持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具
申込先 5月9日(火) 朝9時～
公民館 ☎(572) 5141

〈公民館の窓〉
市制施行50周年記念
—国立市出身の一橋大学長と京都大学総
長—
対談イベント開催予告!

一橋大学長・藤沼宏一さんと京都大学総
長・山極壽一さんは共に、国立ご出身です。
日本を代表する大学の長を務めるお二人に
よる市制施行50周年記念の講演会を公民館
が担当して、今秋10月22日(日)に芸小
ホールで開催予定です(詳細は今後「公民
館だより」にてお知らせします)。
2013年、世界的なゴリラの研究で
ある山極さんに公民館でお話いただいた時
参加者からこんな質問が出ました。「2人
の子ともがいるのですが、先生は幼かった

頃、どのような影響を受けて育ちました
か?。お話の幅の広さに驚かれたうえで
の質問でしたが、会場が和やかな雰囲気な
なったのを今でもよく覚えています。
公民館でさまざまな講師の方々にお会い
すると、生き方はいろいろあっていいし、
カッコいい大人はたくさんいるんだな...
と感じます。将来への不安や現状への不満
毎日何かと葛藤していた昔の自分に教えて
あげたいと思ったりもします。
カッコいい大人との出会いは、若い世代
にはもちろん、年齢を重ねても刺激的でわ
くわくすることではないでしょうか。まし
て、その人が同じ国立出身であったなら。
この度、大変ご多忙なお二人が揃って登
壇される「文教都市くにたち」ならではの
50周年記念事業。今からぜひ参加のご予定
をしていただければと思います。(Y・K)

公民館運営審議会報告

3月30日(木) 第5回定例会を
開催。委員15名、館長、職員2名
が出席。傍聴2名。
公民館館長人事について
館長人事は異動なしとの報告。
前回議事録確認
報告事項及び協議事項
○公民館だより編集研究委員会
2月号 掲載した「サークル訪
問」が校正作業の不手際から執筆
者の意図と異なる文章を含んで掲
載されたため、3月号に修正版掲
載。その他、開催講座の状況報告
3月号 会場予約のための調整
会が国立らしいとの議論の報告。
○社会教育委員会の会
定例会の開催頻度を、今年度は
生涯学習計画策定に関する議論が
中心になるため月一回から減らす
ことが報告され、公運審では反対
する意見が述べられた。

公民館運営審議会報告

4月11日(木) 第6回定例会を
開催。委員15名、館長、職員2名
が出席。傍聴2名。
公民館人事について
職員の退職などに伴う4月1日
付の人事異動が報告された。
前回議事録確認
前開催から日数が経っていない
ため議事録なし。次回まとめて
報告事項及び協議事項
○公民館だより編集研究委員会
3月号 版画講座に飛び込み参
加できて良かった。連続講座にし
て欲しいという感想もあった。防
災講座では新しい繋がりができた。
4月号「学び」の言葉が公民館
らしくて良いという感想の一方
硬いイメージだとの反応もあった。
新年度なので公民館利用案内があ
ると良い。5月号に掲載予定。
○社会教育委員会の会
問瀬委員から社会教育委員とし
て教育委員会に対し文化芸術振興
条例検討委員会に関する意見具申
書を提出した旨報告あり。

○東京都公民館連絡協議会
4月総会(4月19日国立市公民
館にて開催)の代議員2名(次年
度監査1名を含む)として、富田
委員・大井委員)を選出。
○社会教育学習会
30期答申の具体化は、学習会だ
けでなく公運審でも議論してほし
いとの要望を受け、内容を把握で
きていない新委員もいるため、次
回から改めて答申の読み合わせを
行うことを確認。(錫田)

○東京都公民館連絡協議会
大井委員から委員会部に国立市
公民館紹介文を提出する報告あり。
○第30期答申について
大串副委員長から公民館の事業
評価のあり方についての読み方の
アドバイスあり。引き続き各自で
読み込み「ふりかえりの会」に繋
げていく。
次回定例会は5月9日(火)夜
7時15分から。傍聴歓迎。(龍野)

今月の公民館 (5月、6月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 11日(木) 夜 くにたちブッククラブ 川上弘美『真鶴』
- 20日(土) 昼* 図書室のつどい 「昭和の洋食 平成のカフェ飯 一家庭料理の80年」
- 21日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう 「マスキングテープを使って アート作品を作ろう！」
- 28日(日) 昼* CINEVOX公民館映画会 『鉄道員 Il Ferroviere』
- 30日(火) 夜 公民館・NHK学園高等学校共催 子ども・若者を支える“つながりワークショップ”
- 6月9日(金) 昼~ 人生のあしあと マイ・ノート
- 10日(土) 昼 環境講座「身近にある毒食物たち」

ひろば

(7ページにもあります)



準備はいいですか？
撮影 末永 皓 (富士見台)

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは掲載希望月の前月7日午後5時です。会員募集は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。ファックスでの提出も可能です。Fax 042(573)0480

「ひろば」写真募集

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

ピースリーディングくにたち2017
非戦を選ぶ演劇人の会の公開本『9人いる！憲法9条と沖縄』を、秋の文化祭発表に向け、練習を始めます。憲法9条の理想と現実を沖縄から考えます。

日時 5月27日(土)朝10時
場所 公民館 講座室
連絡先 龍野090(1469)1094

第215回くにしんぼクラブ
台湾留學生会の皆さんと粽(ちま子)祭
台湾の端午節に食べる粽をいっしょに作りましょう。
材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参下さい。

日時 5月27日(土)昼1時
場所 福祉会館 料理講習室
連絡先 八宮(571)1007

〈サークル訪問308〉 おいしい じかん

「おいしい じかん」は子ども食堂。「みんなごはんを食べましょう。子どもも大人もどうぞ!!」との呼びかけで、昨年11月から毎月一回開かれています。運営の中心は民生児童委員有志の皆さん。共催団体として生長の家神の国寮さんが場所(コスモス広場)の提供を、棕櫚亭ピアスさんが配食を受け持つ。さまざまな理由からひとり夕食を食べている子どもたちが、一緒におしゃべりしながら食事ができる場所が、市内のあちこちにあればいい、というのが「おいしい じかん」の基本的な考えだとか。

活動日に訪問したが、まず中心メンバーで話し合いながら段取りを決めていく様子は頼もしい限り。4時過ぎからはぼつ参加が増えて、手作りのおやつを食べたり、ババ抜きでは大人も混じり盛り上がった。そしていよいよ6時頃から夕食タイム。ご飯とみそ汁以外の大皿のつたご馳走は、自分で取り分ける。「ほら野菜も少し食べなかつちゃ」と言われる子ども。満腹の後は部屋のピアノを弾いたり追いかけて遊んだりとお互い顔なじみになった子どもたち



「おいしい じかん」の始まり

ちは遠慮がない。
この日の参加者は、幼児から小学6年生までの子ども17名、大人20名(親は5名)。協力者や見学者の子どもたちも混じり大賑わいだった。活動のきっかけはスクールソーシャルワーカーと、主任児童委員たちが話し合い、それぞれの幅広い人脈を生かして場所と食事作りの協力を得たことが実現につながった。8月末には夏休みの宿題サポーターも兼ね、カレーランチを計画。スタッフも含め参加希望の方は電話の上、のぞいてみて下さい。

活動日 毎月第一水曜日3時半
場所 神の国寮コスモス広場
連絡先 高橋(575)9178

〈文・写真 佐藤節子〉